

校長講話 ～明確なビジョンを持ち、ポジティブに生きる～

こんにちは。本校は2学期制を採っており、本日は終業式ではなく、夏休み前の全校集会ということになります。この後、キャプテンからお礼の挨拶がありますが、まずは高校野球の話から始めます。

2回戦、3回戦は危なげなく勝利し、4回戦の山形中央戦。火曜日の試合は全校生で応援しているにもかかわらず、それがかえって緊張につながったのか、1回の表に10点も取られました。なかなかアウトが取れず、このままだとスポーツ新聞の全国版に載ってしまうのではないかとハラハラしておりました。結果的には6回、雨天によるノーゲームとなったわけですが、7回まで終了すると試合が成立してしまっていたので、1回表の攻撃が30分も続いたことが逆に良かったとも言えます。

次の日はキャンセルできない予定が入っており、残念ながら野球場にも行けず、途中経過を知ることもできませんでした。試合が終わった後、「一球速報」というサイトで惜敗したことを知ったのですが、スコアを見る限り前日とは打って変わって投手戦だったようです。

野球に関心がある人は、プロ野球でも使われているこの「一球速報」というサイトは知っていると思います。担当者がiPhoneを使って一球ごとにボール・ストライク、ヒット、アウトなどを入力するのですが、リアルタイムにデータベースに反映され、ネットで試合経過が分かるというものです。試合終了後には、打率やピッチャーの球数など、チームが様々なデータを管理できるようになります。ちなみに、城北のキャプテン榎君は、一級速報のデータによれば今大会11打数5安打で、打率は4割5分5厘という素晴らしい成績でした。

このサイトの注目すべき点は、回が終了するごとに、人工知能が試合経過をテキスト化することです。ちなみに、山形中央戦、6回裏に同点に追いついたシーンはこんな感じです。

<6回裏 山形城北の攻撃>

マウンド 武田 陸玖

- ① 4番 榎 晃生 初球から打って中飛 1死
- ② 5番 遠藤 広貴 ISから死球 1死一塁
- ③ 6番 伊藤 拓磨 ISから投に転がして送りバント成功、一塁走者が二塁へ 2死二塁
- ④ 7番 工藤 拓翔 1B2Sから5球目を打って右適時二塁打 +1点 同点 2-2 2死二塁
- ⑤ 8番 加藤 康生 フルカウントから空振り三振 チェンジ、二塁残塁

武田 陸玖 (16球/合計58球)

これが人工知能の書いたテキストです。

実はこのサイトの開発者は中国人です。高校野球で最初に採用したのが山形県で、そのとき私が高野連の会長をしていたもので、この社長さんと知り合い、山形に来れば温泉に連れて行ったり、東京に行けば中華料理をごちそうになったりと、大変仲良くさせていただいています。

すでに新聞の野球記事などはAIが書いているのだそうで、その社長さんと夕食を共にしながら、私がサイトの改善提案をしたところ、目の前ですぐにSE（システムエンジニア）に電話し指示を出しました。そうしたところ、次の日の朝には、要望通りに改善されていました。この社長さんとはいろいろな話をしたのですが、印象に残っていることが二つあり、

一つは、日本人は決断に時間がかかりすぎるということ。

二つ目は、できない理由をあれこれ挙げる人とはビジネスをしない。
というものでした。

私たちは、ついついできない理由を挙げて自分を正当化しようとしがちです。たとえば、勉強できない理由を、疲れているからとか、暑いからとか、野球の応援があったからとか、あたかも自分のせいではないかのように正当化をしてしまいがちです。そうではなくて、どうやったらできるようになるか、それが大事なのだと言います。ビジネスに限らず、成功する人に共通するのは、明確なビジョン（目標）を持ち、ポジティブ（前向き）に生きているように思います。

さて、野球の応援というのは高校ならではの学校行事で、それを今年やれたのは本当によかったと思っています。この2年間は、そういった高校生ならではの経験ができないことが多く、今年は何とかしてあげたいと思っていたので、ほんとに嬉しく思います。野球部の3年生はまだ悔しさの中にもいるかもしれませんが、私のところには称賛の声がたくさん届いています。君たちが流した大粒の汗と涙は、この上もなく尊く、私にとっては大きな誇りです。

野球の話はこれくらいにして、次の話題に移ります。

今年、山形の大花火大会は、8月14日、霞城公園から打ち上げられることになりました。そこで、3年生に限って本校校舎の屋上を開放することにしました。3年生だけにした理由は、スペースがそんなになく、コロナのために修学旅行にも行けませんでしたので、少しでも高校時代の思い出を残してあげたいという学年の先生方の思いによるものです。

霞城公園は目と鼻の先ですので、本校の屋上はおそらく最も観覧に適した場所だと思います。今年は主催する大会実行委員会も力が入っており、音楽とともに花火を打ち上げ、それをYouTubeで生配信することです。夏休み中ですので、あくまでも3年生の希望者ということになりますが、服装も自由になりますので、ぜひ楽しい思い出を作ってください。

それから、夏休みが終わると間もなく城北祭がやってきます。第一日はやまぎん県民ホールで、第2日は学校での開催になり、今年は保護者、家族に限っての一般公開も予定しています。PTA研修会として、プロダンサー大前光市氏のパフォーマンスを城北祭と合同開催とし、それとは別にサプライズゲストも検討中です。生徒の皆さんによる「パフォーマー大集合」は年々レベルが上がっていて、私も大変楽しみにしています。

最後になりますが、コロナはオミクロンからBA.5という型に変異し、爆発的に増えています。感染してしまうと2週間ほど行動制限を受けますので、罹らないことが一番です。3年生はいよいよ就職や進学に向けて、ギアを一段上げる時期ですので、そういったことも考え、できるだけ人ごみは避けるようにしてください。

それでは、夏休みを事故なく過ごし、8月22日、元気に会いましょう。

(2022.7.22 全校集会)